

88 会報

響き

発行所 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル6F
TEL 03-6907-12537
FAX 03-6907-12915
発行人 山東 昭子 編集人 伊藤 芳久
(題字 山東昭子会長)

会長あいさつ

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会会長

山東 昭子



会報「響き」も無事に第88号を迎えることが出来ました。これもいつもご支援してくださる皆様のおかげと

感謝申し上げます。

最初に大分県大分市佐賀岡での大規模な火災により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、大切な方を亡くされた方々、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、今年度は、1回目の読字力検定試験に始まり、第29回全国聾学校絵画展、第20回全国聾学校作文コンクールなどを年度前半に無事に終えることが出来ました。全国聾学校絵画展・全国聾学校作文コンクールともにたくさんの方の応募があり、またどの作品も力作揃いでした。最優秀賞・優秀賞を取った絵画作品16点は、全国聾教育研究大会(今年度は長崎県で開催)にて展示し会場から結果を発信いたしました。また、

全国聾学校作文コンクールの作品は冊子を作成し、皆様にお届けしたいと思っています。

年末から年始にかけては、読字力検定試験2回目・3回目を実施され、第37回「全国聾学校合奏コンクール」第二次審査委員会が開催されました。「全国聾学校合奏コンクール」には16校(22団体)から参加申し込みをいただきました。どの作品も、練習を積み重ねた児童・生徒さんの思いが詰まっていました。

昨年度から名称を新たにいたしました「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」は第四十八回を迎えました。令和八年一月十九日(月)に昨年引き続きタワーホール船堀というすばらしい環境を備えたホールで開催され、聴覚障害児を育てたお母様方やお父様25名が表彰されました。また、桜内義雄賞は、鉄道写真家として活躍の持田昭俊氏に授与されました。本年度は150名を超える方々のご臨席をいただき盛会裏に終了することができました。会の詳細は次号で報告させていただきます。

令和4年度より始めました「乳幼児教育相談支援事業」は、本年度も全国各地の学校から予想以上のご依頼を受け実施しております。乳幼児教育を専門にしておられる先生方が各学校に赴き、講演をして乳幼児教育のご支援に努め、交流が深まっています。また、昨年度より東京都難聴児相談支援センターを東京都より受託しておりますので、全国ばかりでなく東京での難聴児支援事業も同じく事業を展開しているところですので。

これからの全国の聾学校の幼児、児童、生徒たちのために尽力していきたいと思っています。どうぞ変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

理事会・評議員会報告

理事会 令和七年六月九日

評議員会 令和七年六月九日

衆議院議員会館 第五会議室にて行われました。

① 令和六年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件
理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。

② 令和六年度収支決算及び監査報告に関する件

収支決算報告、監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。

③ 令和七年度事業計画に関する件

理事会・評議員会で承認された。

④ 令和七年度収支予算に関する件

理事会・評議員会で承認された

⑤ 諸規程に関する件

理事会、評議員会で承認決議された。

⑥ 役員異動に関する件

次期評議員・理事候補者推薦(案)が理事会において選定され、評議員会において承認された。また、理事・評議員数名の辞任が承認された。

令和七年度 事業計画

【補助事業】公益財団法人JKA競輪収益助成事業

① デジタルワイヤレス補聴援助システム無償貸与事業

令和七年度もは新しいタイプの機種を採用して貸与する。

② 乳幼児教育相談支援事業

0才児から発見される聴覚障害乳幼児のお母さん達や新しく対応する先生方向けに令和七年度は全国10の聾学校（聴覚支援関連校）で支援事業を実施する。

【一般事業】

① 事業案内

全国聾学校に協会ホームページ上のリンクを通して事業案内（実施要項）を提示。このリンクからダウンロードして各学校・機関は事業案内を入手する旨、六月の全国聾学校長会総会で事業の説明とともに依頼した。

② 「第四十八回聴覚障害児を育てたお母さんをたてる会」

令和八年一月十九日(月)
会場…タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀）
後 援…文部科学省、こども家庭庁、東京都教育委員会、全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会

③ 第二十九回全国聾学校絵画展

審査会…令和七年七月三十一日(木)
展覧会…令和七年十月十六日～十七日
全日本聾教育研究大会（長崎大会）中に展示
示

表彰式…最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に専務理事が赴いて実施

後 援…文部科学省・全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会

④ 第三十七回全国聾学校合奏コンクール

課題曲…自由

審査会…令和七年十一月十日（一次）、令和七年一月五日（二次）

表彰式…金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて実施予定

後 援…文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会

⑤ 第二十回全国聾学校作文コンクール

テーマ…自由

審査会…第一次 令和七年八月二三日

第二次 令和七年九月十三日

調査研究委員会…応募作品の分析研究調査
表彰式…「第四十八回聴覚障害児を育てたお母さん」をたてる会」で実施

共 催…全国聾学校長会

後 援…文部科学省、東京都教育委員会、全国ろう学校PTA連合会

⑥ 読字力検定試験

一回目終了（四十八校、六百五十五名受験）

二回目終了（五十六校、七百七十七名受験）

⑦ 聴覚障害教育関係資料収集事業

⑧ 会報「響き」の発行 年二回

⑨ 募金活動（ハマナス募金実施）目標額千四百万円

⑩ 法律相談（インターネット等による法律相談）

⑪ 専門図書、ビデオ、DVDの紹介・頒布

⑫ 協会ホームページの公開・更新

⑬ 聴覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務

令和七年度 役員（敬称略）

理事

（会 長） 山東昭子

（副会長） 森 伸夫、浅井健二

（専務理事） 伊藤芳久

（常務理事） 齋藤佐和、辻村哲夫、藤本 登、植草喜代治

（理 事） 阿部きみよ、今井絵理子、小川昭子、小林 明、仲田邦男、中村喜久子、平口 洋、水谷宣一、山田春雄

（監 事） 関根正浩、二宮征次郎

なお、55年の長きに亘って当協会の常務理事をお勤め頂いた木内弘司氏および理事をお勤めいただいた田中美郷氏は令和六年度をもってご退任されました。当協会のためにいろいろとご尽力いただきました誠にご難うございました。また長年にわたり当協会の理事をお勤め頂いた小川昭子氏は、令和七年十月六日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

評議員

石川庄六、太田昌孝、大沼直紀、大場利秋、堅田明義、加藤聖治、金子昌夫、木村利男、久米武郎、小森谷晴代、鈴木茂樹、竹内美和子、武田智彦、武田直丈、鄭仁 豪、戸田典尚、野崎正史、廣田栄子、堀米泰晴、松藤みどり、水上 豊、山 勝彦、四日市章、柴田祐一氏は、役職が変更になり令和六年度をもってご退任されました。植草喜代治評議員は、令和七年度より常務理事に就任されました。

事務局

（事務局長） 佐渡雅人

東隆治氏は、令和六年度をもって事務局長をご退任されました。

〇〇 役員退任のご挨拶 〇〇

木内 弘司



私は昭和45年「財団法人聴覚障害者教育福祉協会」が発足して以来55年に渡り協会と共に歩んで参りました。

この度常務理事退任に当たり、協会の歩んだ道をお話させていただき退任のご挨拶に代えさせていただきます。

明治8年篤志家に依る「楽善会」が主体となって東京築地の地に「訓盲哑院」を設立し、我が国の「聴覚障害教育」が始まり150年の歴史を歩んで来ました。

今では日本の聴覚障害教育は国際会議の場を見ても世界のトップレベルにあると感じています。

昭和45年アジアで最初の聴覚障害問題国際会議の日本開催の機運が高まり桜内義雄会長の下、「財団法人聾哑教育福祉協会」と「耳と言葉の不自由な子の親の会」「難聴児を持つ親の会」の3団体が併合し現在の「財団法人聴覚障害者教育福祉協会」を立ち上げました。

昭和50年「聴覚障害者教育国際会議東京大会」が帝国ホテルで開催され、諸外国の大使を含む数多くの来賓の出席をいただき会議は38か国から2,300人が参加し5日間の日程を成功の内に終了することが出来ました。この大会が日本の聴覚障害教育の先進性を世界に知らせる事になりました。近年聴覚障害者の環境は大きく変わって来ています、パソコンやスマホの出現、人工内耳の装着などで健聴者と同じに情報が取れるようになりました、大学への進学も多くの聴覚障害者

者が挑戦しています。

協会の事業運営は全て善意の寄付で実施されており、昨今の社会情勢から大変厳しい状況にあります。94年の歴史を持つ協会は山東昭子会長の下、多くの事業を成し遂げてきました、これからも聴覚障害児者により良い教育と福祉向上に貢献していただきたいと心から願っております。

〇〇 新常務理事の紹介 〇〇

常務理事就任にあたり

全国ろう学校PTA連合会相談役 植草喜代治



この度常務理事に就任いたしました植草喜代治と申します。

私の息子は、生まれて間もなく感音性難聴と診断され、途方に暮れている時に病院から

筑波大学附属聾学校が近くにあるので一度見学に行くといひですと紹介されました。早速訪ねると快く受け入れて頂き、以来乳幼相談から幼稚部・小学部・中学部・高等部とたいへんお世話になりました。右も左も分からぬ親と子に、とても丁寧にご指導を頂きました。お陰様で子どもはその後大学へ進み、今は社会人として家を出て一人暮らしをして頑張っております。そんなご縁から附属のPTA会長、その内の2年間は全国ろう学校PTA会長を、その後同会顧問を務めさせて頂きました。この間、当協会の評議員として

もたいへんお世話になりました。当協会の事業は、我が子をはじめ多くの聴覚障害をもつ子ども達に大きな自信と将来への希望を抱かせて

くれる素晴らしい事業です。そして、暑い日も寒い日も重たい我が子と荷物を抱いて、電車やバスに揺られ長く続く通学路を通つての登校、そして下校後は翌日の指導のための絵日記などの準備と、一番苦勞の多かった母親を称える温かい会。さらにその家族をも父親として、とても感謝しております。

〇〇 新評議員の紹介 〇〇

評議員就任にあたり

全国ろう学校PTA連合会会長 水上 豊



このたび、聴覚障害者教育福祉協会の評議員を拝命いたしました、水上豊と申します。現在、全国ろう学校PTA連合会会長と附属PTA後援会会長を兼任しております。まだ就任から日も浅いながらも、多くの出会いや学びに恵まれ、毎日が新しい発見の連続です。皆さまのお言葉や日々の交流から、多くの気づきをいただいております。

それぞれの活動を通して感じるのは、やはり「人のつながりの力」です。立場や地域が違つても、同じ思いを持つ方々と心を通わせることで、たくさん勇気と気づきをいただいています。このご縁を大切にしながら、これからは自分にできることを少しずつ形にしていきたいと思ひます。

評議員としての務めをしっかりと果たしつつ、そこで得た学びや経験を各活動にも生かし、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。微力ながらも前向きに、丁寧に歩みを重ねてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

評議員就任にあたり

全国聾学校作文コンクール調査研究委員 久米 武郎



我が国の聴覚障害者教育に長く携わった参りました。この度、公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会評議員を仰せつかることになり大役に戸惑っております。老体ではございますが、まだまだお役に立つことができればと心を引き締めているところです。よろしくお願いいたします。

○ ○ ○ **協会新役員を紹介します** ○ ○ ○

専務理事就任にあたり

伊藤 芳久



この度、当協会の専務理事を拝命いたしました伊藤芳久と申します。私は、これまでに専務理事を務められた先輩方とは経歴が少し異なり、元々は難聴児をもつ父親で、これまでに筑波大学附属聴覚特別支援学

校PTA副会長・会長、また同校PTA会長時代に全国ろう学校PTA連合会会長として全国の聾学校PTAの役員の方々と活動を共にしてまいりました。子供の卒業後は同校卒業生親の会「鴻友会」会長を務めさせて頂いております。平成25年には、特別支援教育に対する顕著な功績から文部科学大臣表彰を頂き大変有難く存じております。また、私は私立大学薬学部教員として41年間勤務いたしました。その間に医師、歯科医師、薬剤師などの免許制度等においては、「目が見えない者、耳が聞こえない者、口がきけない者には免許を与えない」という絶対的欠格条項が見直され、その後入学してきた聴覚障害を有する学生の特別担任として、講義・実習の情報保障に奔走しました。その学生が卒業後、薬剤師国家試験に合格し聴覚障害者としては二人目の薬剤師免許証を取得できたことは本人ともども感無量でした。

現在は、ノーマライゼーションの機運も著しく向上し、以前とは「隔世の感」がありますが、今後は当協会の専務理事として、全国の聴覚障害の幼児・児童・生徒みなさんが、自分で未来を切り広げられる、じぶんらしく生きられる、そんな社会を目指してさまざまな事業を展開していく所存です。関係各位にはお世話になることが多いと思いますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

事務局長就任にあたり

佐渡 雅人



聴覚障害児教育には、神奈川県立平塚ろう学校から関わり40年になります。昨年三月まで筑波大学附属聴覚特別支援学校に勤務しておりました。現職中は、

学校現場での担任、国立特殊教育総合研究所（現在は国立特別支援教育総合研究所）での長期研修、文部科学省海外派遣として東京学芸大学国際教育センター共同研究員として中国の経済都市上海市にある上海日本人学校浦東校小学部で通常学級の担任をしておりました。日本人学校勤務時代の実践では、聴覚障害教育の日本語指導法や教科指導法、学級経営などが通常学級の子どもの達の日本語の発達や興味関心に十分に寄与することを確認し、東京学芸大学での研究報告、全日本聾教育研究発表大会での報告などのほか現在非常勤で講義を担当しております大学、教育免許法認定講習などで紹介させて頂いております。また、平成16年には、読売教育賞障害児教育部門で最優秀賞を受賞しました。40年の勤務の間には、聴覚口話法(Cued Speech)法・聴覚手話法・人工内耳・ロジャーシステムの導入という目まぐるしい変遷を経験しましたが、ベースとなるやりとりの方法は従来の自然法を駆使した方法が最も有効であると感じております。私の長い間の現場での経験を日本の聴覚障害児教育の方に、また通常の学級に在籍する聴覚障害児学級を担当する先生方、あるいは通常学校の先生方や外国人児童を担当する先生方や保護者の方々にお伝えできればと考えております。まだまだ事業をこなしていくだけで精一杯の状態ですが、各方面にご迷惑をおかけしていると思っておりますが、よろしくお願いいたします。

● **第二十九回 全国聾学校絵画展**

令和七年七月三十一日(木)当協会があります豊島区南大塚 福祉財団ビル7階大会議室において審査会が行われました。入賞者は次の通りです。

最優秀賞・文部科学大臣賞

鹿児島県立鹿児島聾学校 小学部三年

園田 悠誠



家がいっぱいある町

最優秀賞

島根県立浜田ろう学校 高等部三年

櫻井結衣菜



花と植木鉢

優秀賞 (十四点)

鹿児島県立鹿児島聾学校 幼稚部三歳

宝来 樹

福島県立聴覚支援学校福島校 小学部六年

平方 大翔

東京都立大塚ろう学校

小学部三年 石塚ひかる

小学部五年 勝野圭偉良

小学部六年 仲野 晴

東京都立大塚ろう学校城東分教室

小学部六年 池田 路輝
東京都立葛飾ろう学校

小学部一年 桐原 遥大

小学部一年 古谷 宇良

小学部三年 後藤 大駕

愛知県立岡崎聾学校 小学部六年

鈴木 綾仁

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 小学部五年

古本 心風

熊本県立熊本聾学校 中学部二年

宮本 咲

愛知県立岡崎聾学校 高等部二年

RAGO MAYUMI FELICITAS

筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部二年

岡田 実優

佳作 (四十四点)

△総評▽

第29回国聾学校絵画展 審査委員長 矢沢健太郎



今年で29回目を迎える聾学校絵画展も沢山の作品をご応募いただき審査の日を迎えることができました。絵の審査はとても楽しいのですがまた難しいものでもあります。あるということも毎回痛感せられます。学校ごとにそれぞれの特徴があり、どの作品も楽しく創造性に満ちています。その中からさらに個性や感性があふれ出る作品がきらりと輝きを見せてくれるのです。コンピューターなどの普及もあり、紙に絵の具で絵を描くという表現が少しずつ少なくなっている感じがしますが、絵具や鉛筆などの素材が使い方次第で

驚くような美しい表現となったり、丁寧な積み重ねで良い作品ができていく過程などを体験して感性を高めたいってほしいと願っています。

文部科学大臣賞は園田悠誠さんの作品「家がいっぱいある町」です。審査員の先生方は皆、絵のテーマや作風が違う作家なのですが意見がすぐに一致して選ばれました。どこが良かったのか、というバランスが素晴らしい！ということ。抽象的な絵は、線・面積・リズム感、などのいろいろな要素が良いバランスで配置されると良い作品になります。さらに良い作品はそのリズム感が意外さを持ち良い意味で見る人を惑わすことにあるような気がします。真ん中にある黒い太い線、緑色の配置、青の入り方、ピンク色の使い方、塗るとききの筆の勢いなどが絶妙なバランスで、とても素晴らしい作品です。のびのびとした爽やかな感じを受けますね。

最優秀賞になった櫻井結衣菜さんの「花と植木鉢」は素敵なお色使いとしっかりと描かれた線です。優しい観察力で紫の花をしっかりと描いていますがそれだけでなく葉や土、植木鉢、トレイ、テーブルをそれぞれ克明に見つめて表現した緊張感に満たされていってしっかりと描写的な作品になっています。感性が豊かでその上とても説得力のある作品です。優秀賞には14点の作品が選ばれました。宝来樹さんの「ぼくのおお」は黄緑色の画面そのものが顔になっていてかわいらしい目がこちらを見えています。なんだか優しい気持ちになります。桐原遥太さんの「ほしとビル」は色がとても美しい作品です。星を描いた部分とビルの部分の面積比が素晴らしいバランスになっています。古谷宇良さんの「よるのふね」は夜の背景に浮かぶ七色の船と泡立つ海が美しいコントラストになっています。石塚ひかるさんの「ネコカフェたのしいな」とても微笑ましい思い出の一コマですね。大きな猫が印象的です。後藤大駕さんの「たけのビル」は

タケノコの中が住めるようになって空想の絵です。画面からはみ出して伸びる竹の勢いを感じるのびのびとした形と素晴らしい色彩で生命力にあふれた作品になりました。古本心風さんの「運動場のフェンス」は金網越しに見える運動場の風景を金網とともに非常にしっかりと観察して描いた作品です。広い空に広がる雲の表現もとてもよいですね。勝野圭偉良さんの「きせつを感じて」もしっかりとした観察眼でお花たちをモチーフに画面全体をきっちり描き切っています。平方大翔さんの「虹とハートきれい」は抽象的な作品で空に色があり虹が黒く描かれている不思議な作品ですが色と構図の関係が素晴らしい作品になっています。仲野晴さんの「夕日がかがやくお花」は版画の作品です。限られた色と平面的な表現が逆にダイナミックな力強い作品になっていますね。池田路輝さんの「きれいなマンション」は本来グレーっぽいマンションの建物を独自の視点と色彩感覚でとらえた表現豊かな作品になっています。緑の建物と手前のオレンジの遊具などが対比的に美しいと感じます。鈴木綾仁さんの「へんてこへんてこ」は万華鏡のような模様の空間です。緻密に描かれた色彩と形が融合して美しい表現になっています。中学生の宮本咲さんの「かくれんぼ」は海の中でチンアナゴやタコが楽しくかくれんぼをしている様子が描かれた楽しい作品です。隅々まで気を配って丁寧に描写してとても良いですね。タコが下の方にはみ出ていることで画面全体を広々とした感じに見せることに成功しています。高校生のRAGO MAYUMI FELICITASさんの「心の花を咲かせよう」はデザイン的な作品です。小さなピースが色とりどりにちりばめられながら統一感のある楽しい作品になりました。シンメトリーな画面構成もここでは成功しています。同じく高校生の岡田美優さんの「自画像」は物思いにふけっている、少しだるそうな感じの自身の姿を非

常に優れたデザイン力で表現しています。背景のカラージュエ的な構成も良く、しゃれた画面になっています。今回の応募作品で優秀賞とならなかった中にも素晴らしい感覚と才能を感じさせてくれるものがたくさんありました。どの作品も見ていると楽しく、審査員のメンバーも楽しくてしょうがない、という感じが伝わってきて、終始にこやかに審査を進めることができたと思います。審査当日ボランティアでお手伝いくださった方々、日頃熱心に楽しく美術の授業をしていただきまた絵画展出品のために忙しい中、作品をお送りいただいた聾学校の美術担当の先生方に改めて感謝を申し上げます。また来年も生き生きとした作品たちと出会うことを楽しみにしております。

●第二十回 全国聾学校作文コンクール

第20回コンクールの審査会は、第一次審査が令和七年八月二十三日に、第二次審査は九月十三日に調査研究委員と企画審査委員により行われました。

第20回全国聾学校作文コンクール入賞者

金賞・文部科学大臣賞

神崎 加帆 私の顔

大阪府立中央聴覚支援学校 中学部三年

金賞・全国聾学校長会 会長賞

生川 照 命輝けと願いを込めて

愛知県立千種聾学校 小学部五年

金賞・聴覚障害者教育福祉協会 会長賞

佐々木絢可 巡り合えた奇跡

筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部三年

銀賞

首藤 陸志 日本を描く

筑波大学附属聴覚特別支援学校 小学部五年

富野ひより 小さな勇気が変えていく明日

愛知県立千種聾学校 小学部五年

柳澤 真央 奇跡って本当に起きるんですか

山梨県立ろう学校 中学部二年

宮崎 蒼 水俣と私

熊本県立熊本聾学校 中学部三年

小菅 翔栄 困難を乗り越えたあの日

栃木県立聾学校 高等部二年

大澤 未来 自己価値に気付く

群馬県立聾学校 高等部三年

銅賞

日向 叶羽 つながってる

山梨県立ろう学校 小学部三年

長井 馨 ぼくの大好きなもの

栃木県立聾学校 小学部六年

金子 創介 志

茨城県立水戸聾学校 中学部三年

古川 晶菜 コミュニケーション

筑波大学附属聴覚特別支援学校 中学部三年

関 武瑠 新たな形

筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部二年

小林那奈美 バレーボールが私を変えた

茨城県立水戸聾学校 高等部三年

努力賞

内藤 咲希 山梨県立ろう学校 小学部二年

大木 蓮唯 筑波大学附属聴覚特別支援学校 小学部四年

鈴木 陽菜 静岡県立浜松聴覚特別支援学校 小学部四年

豊田 陽菜 筑波大学附属聴覚特別支援学校 小学部二年

水谷 圭孝 東京都立中央ろう学校 中学部三年

田中 絆来 愛知県立岡崎聾学校 中学部三年

高田 彩夏 東京都立中央ろう学校 高等部一年
町田 瑠音 東京都立葛飾ろう学校 高等部二年
西川 心望 筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部三年

入選

絵日記 藤井 新大 しゃとるらん

東京都立葛飾ろう学校 小学部一年

日記 多田 旭 かっこいいね

東京都立立川学園 小学部二年

佳作 十七編

△総評▽

全国聾学校作文コンクール審査委員長 齋藤 佐和



平成17年度に始まった全国聾学校作文コンクールは本年度節目の20回目を迎え、全国26校から125編が集まりました。応募された児童・生徒の皆さん、指導された先生方に心から感謝いたします。審査の結果、小学部13編、中学部・高等部それぞれ14編の入賞作品、また絵日記・日記部門では応募9編から2編の入選作品が選ばれました。本コンクールでは第1回目から「自然や人とのつながりの中で自分に焦点をあてたもの」をテーマとしてきましたが、応募作品から、聾学校の子ども達その時々々の興味・関心の変化や表現する力の成長を読み取ることは、審査委員にとって毎年の喜びです。

絵日記・日記部門の入選作品には、日々の出来事から心に残ったことがきちんと書かれています。文字になる前や後に、きつと家族の方や先生との会話もたくさん交わされたことでしょう。経験を思い起し、ことばにつづる積み重ねこそ、作文の基礎になるものであり、日記指

導はこれからも大切に引き継いでいきたいと思えます。小学部では、学校や家庭での経験を書く作品が中心ですが、高学年になると対象となるテーマが明確になり、自分なりの考えをまとめようとする作品も増えてきます。五年生の生川照さんの「命輝けと願いを込めて」は、偏食だった作者が畏れに勝った猪の解体という厳しい経験を通して、人間が動物や植物を食べる意味を学んでいく過程が丁寧に綴られていました。素晴らしい作品として、金賞・全国聾学校校長会会長賞を受賞しました。

中学部では障害に関わる経験や思いをテーマとした良い作品が多かったのですが、神崎加帆さんの「私の顔」は、特に深く心に訴えるすばらしい作品でした。小さい頃から「心が削られ」てきた日常の経験を冷静に振り返り、揺れる気持ちと強く生きていこうという決意がともに伝わり、たいへん高い評価を得て、金賞・文部科学大臣賞に輝きました。

高等部になると、障害に関わる題材も多様な広がりを見せ、また日常経験から深い考察へと繋がる作品も多くなります。佐々木絢可さんの「巡り会えた奇跡」は、書き出しから、電車内での折り紙交流エピソード、結びへと流れるような描写力で一つの作品を完成させています。情景が浮かんでくるような優れた作品として、金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞を受賞しました。本年度から、本コンクールの事務局は長年担当していただいた東京都立ろう学校から千葉県立聾学校へと移り、これから原則2年間ずつ、関東地区聾学校間の持ち回りで繋いでいくことになりました。お手元の入選作品集は新事務局中心にまとめたものです。また入選作品についての評言は、第17回から調査研究委員会委員が分担任して担当、久米委員長に監修をお願いしています。

これからも関東地区聾学校国語科の先生方のご協力を得て本コンクールを継続し、聴覚障害児の書く力の育成を支援し、日本語の力を育てる聴覚障害教育の専

門性の継承に貢献していきたいと思えます。皆様方の本コンクールへの変わらぬご支援を願って、審査講評を終わります。

●第三十七回 全国聾学校合奏コンクール

第37回全国聾学校合奏コンクール審査が令和七年十一月十日(一次)、令和七年一月五日(二次)に行われ、入賞校と各賞について決まりましたので報告いたします。なお、金賞・文部科学大臣賞受賞校である東京都立大塚ろう学校におきまして、令和八年二月二十六日(木)に山東昭子会長より表彰状が授与されました。

受賞校

金賞 文部科学大臣賞

東京都立大塚ろう学校 小学部6年生

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

銀賞

東京都立立川学園 小学部5年生

サウンドオブミュージックより

銅賞

東京都立大塚ろう学校 小学部5年生

バレエ音楽「火の鳥」より

東京都立立川学園 小学部6年生

天空の城ラピュタより

努力賞

筑波大学附属聴覚特別支援学校 小学部5年生

『新世界』より第2楽章「遠き山に日は落ちて」

長野県長野ろう学校 中学部全

絆 2025 躍動

福島県立聴覚支援学校 小学部全

「バフ」

審査員奨励賞

福島県立聴覚支援学校 中学部3年生

風になりたい

福島県立聴覚支援学校会津校 小学部2、4、5、6年生

ラバーズコンチエルト

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 中学部3年生

5人の打楽器奏者のための小品「四季」

筑波大学附属聴覚特別支援学校 小学部6年生

聖者の行進

東京都立大塚ろう学校城東分教室 小学部4、5、6年生

「Departure」

静岡県立静岡聴覚特別支援学校 中学部2、3年生

青瞬

山口県立山口南総合支援学校 中学部全

陶ヶ岳太鼓

ハマナス募金

当協会が実施しております事業は、公益財団法人JK A様より公益資金の補助をはじめ皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝いたしております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところでございますが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行

振込にてお願いいたします。

郵便振替口座 00110191134877

名 義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店

普通口座 1615748

名 義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

会長 山東 昭子

当協会は、令和四年三月二十八日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受理しており、この度令和四年三月二十日から令和九年三月二十九日までの有効期間の延長が認められました。

令和七年七月一日から令和八年一月末日までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

谷口昭子（毎月）、小谷理恵（毎月）、

株式会社テアトルアカデミー、東京ホールディングス、

リオン株式会社、齋藤佐和、

藤沢テクノセンター アズビル労働組合事務所、

ライシヤワー学園、安藤裕史、橋本孝生、杉山 実、

中村喜久子、植草喜代治、熊本県立熊本聾学校、

北海道高等聾学校

令和七年度

公益財団法人 JK A競輪公益資金による補助事業実施報告

一、事業名

令和七年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

二、事業実施内容

○ デジタル補聴援助システムの購入

・無償貸与

送信機（ロジャータッチスクリーンマイク）

十三セット

全国聾学校・聴覚特別支援学校、

小学校、中学校、難聴幼児通園施設に在籍、在園する幼児・児童・

生徒の家庭に貸与した。

○ 聴覚障害乳幼児支援事業

・聴覚障害乳幼児を持つ保護者を対象にした研修会への講師派遣事業

・令和七年度は十校に支援を行った。

実施出来なかった学校からは来年度も開催してほしいとのご意見を

いただいた。

会報「響き」八十八号をお届けします。

編集後記

大きな事業の一つである「聴覚障害児を育てたお母さんや家族をたたえる会」は、船堀

タワーホールにて昨年に続き今年度も行われました。全国から二十五名のお母さん方の推

薦があり表彰されました。八十九号で詳細をお伝えいたします。

今後とも、全国の聾学校、関係機関、関係

団体等のご理解ご協力、ご支援を賜りますよう

お願い申し上げます。

お伝えいたします。

今後とも、全国の聾学校、関係機関、関係

団体等のご理解ご協力、ご支援を賜りますよう

お願い申し上げます。

